

あなたのチカラが、
まちの明日を
つくる。



消防団応援
サポーター
稲村亜美

職業：保険会社勤務
松本 明裕さん
川崎市麻生消防団
東柿生分団 団員

消防団員募集



あなたの活躍の場が
そこにもあります。

消防団について

消防団は、消防組織法に基づき、全国の各市町村に設置されている組織です。その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。



消防団の活動について

<p>平時時の活動</p>	<p>消火・防災訓練</p> <p>火災現場での活動を想定した訓練(放水訓練等)を行っています。</p>		<p>消火活動</p> <p>火災発生時には、消火活動、後方支援の活動を行います。</p>	
	<p>救命講習会</p> <p>応急手当やAEDの使い方などを指導する講習会を行っています。</p>		<p>災害時の活動</p> <p>捜索・救助活動</p> <p>大規模災害発生時には、捜索・救助活動、避難誘導などを行います。</p>	
	<p>防火啓発活動</p> <p>各家庭を訪問しての防火指導や防火教育などを行っています。</p>		<p>水防活動</p> <p>風水害の際には、河川の水位の警戒、排水、浸水防止を行います。</p>	

ここがポイント!

- 働きながらでも地域に貢献できる!
- 参加しやすいさまざまな制度がある!
- 性別・職業問わず活躍の場がある!



対談インタビュー

稲村 亜美

消防団員

×

松本 明裕さん

川崎市麻生消防団
東栞生分団 団員

職業：保険会社勤務

消防団応援サポーター
稲村 亜美

尊敬できる仲間と、熱く、楽しくまちを守る。
その想いが一生の絆になる。



先輩方の熱い気持ちに魅了されて

稲村: 消防団に入った理由を教えてください。

松本: 大学時代に講師の方から紹介していただいたことがきっかけです。自分がお世話になったまちを守ることができるということに興味を持ちました。要請があればすぐに現場に駆けつける先輩方の姿がとにかくカッコ良くて、自分もその仲間に入ってまちを守りたいと思い入団しました。

操法大会で好成績

稲村: 特に印象に残っている活動はありますか？

松本: 小型ポンプの操作スピードや、正確性を競う消防操法大会です。先輩方と一緒に何度も練習を重ねたことで、平成29年には麻生消防団ポンプ操法大会で最優秀三番員を獲得することができました。先輩方の力強い支えがあったからこそ受賞できた賞だと感謝しています。皆さんが喜んでくれたことがうれしかったですね。

仲間との絆は一生もの

稲村: 松本さんにとって消防団はどんな場所ですか？

松本: 尊敬できる仲間と出会える場所です。訓練がつらい時もあります。それでも先輩方といくと仲間意識も強くなって「よし、また頑張ろう」という気持ちになれるんです。消防団で生まれる絆は一生ものだと思います。若い人にもどんどん入ってきてほしいですね。

消防団へ入団するには

[お問い合わせ先]

- お近くの消防団を探す
ホームページ上の消防団一覧から、お近くの消防団を探します。
- 消防団へ問い合わせる
入りたい消防団の連絡先を調べ、電話・メールなどでお問い合わせください。
- あなたも消防団員に!
お問い合わせ先の案内に従い、入団手続きが完了すれば、晴れて「入団」となります。



消防団への入団手続などについては、各市町村ごとに定められていますので、居住地(または勤務地)の市役所・町村役場または最寄りの消防署にお問い合わせください。

消防団に関する詳しい情報はWEBで <https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/>



@FDMA_JAPAN



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency